



2017. 6. 1

6月 ちとせだより

幼保連携型認定こども園
神戸 YMCA ちとせ幼稚園

初夏の清々しさが嬉しい今日この頃です。こどもたちは5月早々から半袖になっていましたが、教諭もそろそろトレーナーが我慢できなくなって、ポロシャツに変わってきました。

園舎1階のチューリップ組の、ウッドデッキに出たところにツバメの巣があるのですが、ツバメが留守にしている間にスズメが住み着いていました。連休明けに南の国からツバメが帰ってきて、暫く園庭の木やチューリップ組の部屋札の辺りで小競合いが続いていました。結局、ツバメが園舎2階の軒下に新しい巣を作り、住み分けが出来たようです。

5月20日(土)には同園会が開かれました。久しぶり、と言っても、1年生たちは卒園してからまだ数ヶ月なのに、一人ひとり、わたしたちの記憶にある姿よりも大きく、そして何と言うか「輪郭がくっきり」してきた、そんな印象でした。一方、こどもたちに「久しぶりの幼稚園はどう？」と聞いてみると、「小さい!」「狭い!」という言葉が返ってきました。こどもたちの身体も世界も大きくなって、相対的に幼稚園が小さくなったのだと思います。幼稚園で育んできた「根っこ」が、その成長の礎になっていくことを願っています。

そろそろ年少組も、部屋が移動した年中、年長組も新しい環境に慣れ、さくらんぼ組のこどもたちも幼稚園に馴染んできて、それぞれの個性がどんどん発現される、こどもたちの心が『動き出す』気配が、幼稚園に満ちてきています。

教諭やほかの園児、草や木、虫も風も、幼稚園の全てが子どもたちの心を動かして、その動きが互いに影響して、大きくなったり、変化してまた違う動きになっていく…。そんな相互作用の中で、やさしい心、つよい意思、すこやかな体が育まれて、すべての土台になる「根っこ」が丈夫に育つように願っています。

年主題 『愛されて育つ』

<年主題聖句> 「あなたがたは神に愛されている子供です」
(エフェソの信徒への手紙 5章 1節)

6月主題 『動き出す』

<聖句> 「これは主の御業 わたしたちの目には驚くべきこと」
(詩編 118編 23節)